



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 1月号



江戸独楽と犬張子

あけましておめでとうございます
平成6年の新春を
みなさんとともにお慶び申し上げます

■日本人は今年の干支「犬」を古くからかわいがっていたらしく、縄文時代の遺跡からは、食料にしていたイノシシやウサギとは明らかに違った扱いがされているとか。

■博物館の常設展示「五領ヶ台のくらし」に

も犬が登場していますが、縄文時代のムラのマスコットという役割を与えられています。

■職員一同、さらなる充実発展を期して頑張ります。本年もよろしくご支援をお願いいたします。

平塚市博物館 館長

木村 誠一

南十字星を追って

1月16日
～3月6日

■あけましておめでとうございます。

■お正月なので、おめでたい星をひとつ。

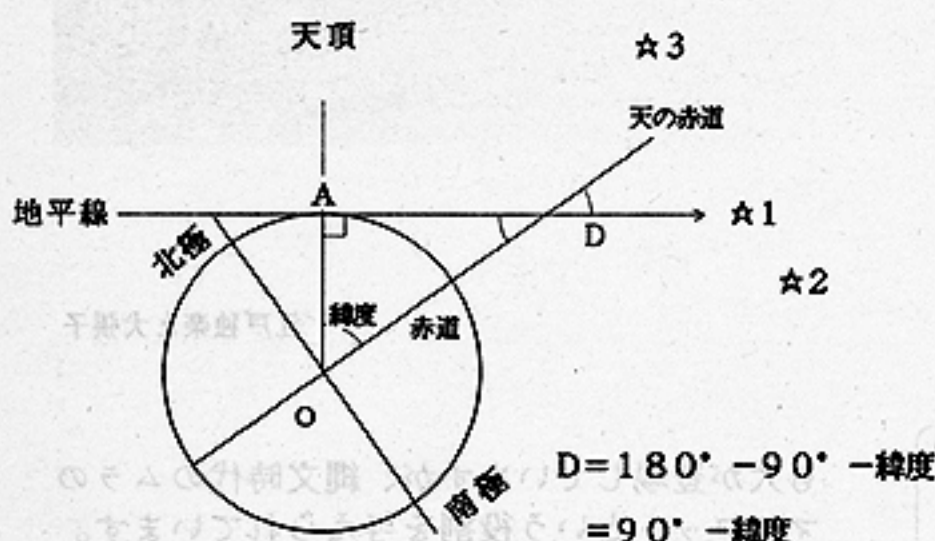
■右の写真は、表富士5合目で撮影した南の地平線（雲海）ですが、りゅうこつ座のカノープスという星が写っています。古代中国では老人星といって、その精は日本では七福神に数える寿老人とされ、ひと目見れば長生きできるなどといわれています。みなさんは見たことがありますか？

■カノープスは、全天の一等星の中でもシリウスに次いで二ばんめに明るい星です。ところが写真のように南中したときでも低い

ので、地平線上に出ている時間が短く、見える季節も限定されます。そして何より、南の水平線まで雲やもやがなく晴れている、という気象条件がそろわなければ見えません。いろいろな言い伝えが生まれたのも、こんな珍しい星だからかもしれません。

■星が、地平線より上に出るか、出ないかは、星の位置とその土地の緯度によって決まります。かんたんな計算式を図に示しておきますから、旅行するとき、そこではどんな星が見えるか、確かめてみてください。

■投影では、有名な「みなみじゅうじ座」が、どんなところで、どのように見えるかを、プラネタリウムで再現してみます。



赤緯が $-(90^\circ - \text{緯度})$ の星まで見える

左図の円は地球を表します。Aの地点では、3の星は見え、2は見えず、1がちょうど地平線すれすれになります。星の位置のうち、天の赤道からどれだけ南北にはなれているか（図のDの角度にあたるもの）は「赤緯」であらわされます。ちなみに、みなみじゅうじのα星の赤緯は $-63^\circ 6'$ です。北緯何度くらいなら見られるか、左の式で計算してみましょう。

体験学習 おかざり作り 開催

■年末恒例の体験学習・「おかざり作り」が12月19日の日曜日に行われました。この行事は今年で16回目を迎え、毎年参加希望者が殺到する行事の一つです。今年も募集人数30名のところ、50名を超える応募がありましたが、できるだけ多くの人に参加できるようにと応募者全員を対象としました。

■講師は中原在住の石原正太郎さん(85才)。石原さんには第1回から講師をお願いしています。

■科学教室で本館の民俗担当の学芸員から「お飾り」についての話を聞いた後、石原さんの指導でお飾りに付ける紙垂(しで)を作りました。



■その後は底冷えするような寒さの中、博物館の中庭で一本飾り・輪飾り・ごぼうじめ・玄関飾りの4種類のお飾りを作りました。

■参加者の中には慣れた手つきで次々に藁を編んでいく人、初めての体験で悪戦苦闘する人、時間が経つにつれて自分でも満足のお飾りができた人、お互いに教え合い、協力しながら作業を進める人、あちらこちらではほえましい光景がみられました。参加者全員が石原さんの丁寧な指導でお飾りを完成させることができました。

■参加された方々も手作りの「お飾り」できっと良い年を迎えられたことでしょう。



プラネタリウム利用案内

投影日: 毎週 土、日曜日

投影時刻: 1回目 11:00、2回目 14:00

観覧料: 100円

定員: 86名

★途中入場はできません。

★土曜の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券は1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

1月の行事予定

7	金	星を見る会（冬の星座）
8	土	古文書講読会 漂着物を拾う会
16	日	古代遺跡を探す会
22	土	古文書講読会 土曜観察会（高麗山）
27	木	裏打ちの会
30	日	相模川の生い立ちを探る会 （相模湖町）

2月の行事予定

5	土	土曜観察会（自然の新聞作り） 天体観察会
10	木	星を見る会（冬の星雲と星団）
12	土	古文書講読会 漂着物を拾う会
13	日	古代遺跡を探す会
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会（吉沢）
24	木	裏打ちの会
26	土	古文書講読会
27	日	相模川の生い立ちを探る会 （甲府）

■星を見る会「冬の星座」■

開催日：1月7日（金）
時 間：19：00～20：30
場 所：屋 上（科学教室集合）
参 加：自 由
備 考：曇・雨天中止

■土曜観察会「冬尺蛾を見よう」■

開催日：1月22日（土）
時 間：17：10頃～19：00頃
参 加：自由 下記交通機関を利用、もし
くは現地集合
持ち物：筆記用具、B5版紙ばさみ、虫めが
ね、懐中電灯、交通費
備 考：平塚駅北口バスターミナル ⑬番線
国府津行き 17:00発
花水下車 17:10頃
雨天中止、防寒を十分に！

■漂着物を拾う会■

開催日：1月8日（土）
2月12日（土）
3月12日（土）
時 間：9：30～15：00
場 所：平塚海岸
参 加：自由（花水川河口石碑前集合）
備 考：曇・雨天中止

12/1～1/30 寄贈品コーナー 「天文分野」
2/1～2/27 寄贈品コーナー 「民俗分野」
11/20～1/9 プラネタリウム
「お昼の太陽はどこにいますか」
1/16～3/6 プラネタリウム
「南十字星を追って」

あなたと博物館 18巻6号 通巻204号 ©3000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています